

## 令和3年度 データヘルス計画の評価

### 《中長期目標》

項目	指標	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	備考	
医療給付費	1人当たりの医療費の伸び(前年度比)	1.58%	0.89%	△2.07%	11.23%	△5.26%	10.19%	5.77%	△10.54%		
虚血性心疾患	急性心筋梗塞の標準化死亡比(SMR)	R3年度の値は、H28-R2	男性	1.00	1.95	1.95	2.45	2.60	2.76	2.35	全国平均を1としている。1より大きい場合は全国平均より死亡率が高い。
			女性	1.79	3.08	1.98	2.72	2.30	2.50	2.86	
ジェネリック医薬品	ジェネリック医薬品の使用	80.0	70.9	74.4	78.2	79.7	79.8	81.4	81.7		

### 《短期的目標》

項目	指標	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	備考
メタボリックシンドローム	メタボリックシンドローム該当者及び予備群	30.0%	30.9%	33.8%	33.4%	36.0%	34.4%	33.2%	32.6%	
高血圧症	特定健康診査の結果 II度、III度高血圧の割合	3.5%以下	4.5%	3.9%	7.9%	5.7%	3.9%	2.2%	3.3%	
糖尿病	特定健康診査の結果 HbA1c6.5%(治療中7.0%)以上の割合	4%以下	4.7%	4.7%	6.5%	7.6%	8.9%	3.1%	7.3%	
脂質異常症	特定健康診査の結果 中性脂肪 300mg/dl以上の割合	1.3%以下	1.9%	1.9%	1.9%	2.4%	1.8%	2.2%	2.0%	
特定健康診査	特定健康診査受診率	60.0%	56.4%	57.2%	57.4%	57.5%	57.9%	29.6%	47.6%	目標値は保健事業計画による
特定保健指導	特定保健指導利用率	45.0%	5.1%	11.0%	29.9%	44.1%	41.4%	49.3%	51.8%	目標値は保健事業計画によるR3～目標値を45.0%に変更
運動習慣	健診の質問票で、運動習慣なしと回答した人の割合	65%以下	データなし	71.6%	69.8%	61.2%	60.4%	58.9%	57.8%	

評価	<p>《中長期目標》 ジェネリック医薬品の使用については、年々上昇傾向にあり同様の取組を継続します。 ・虚血性心疾患の標準化死亡比は、減少傾向が見られますが、高い状態が続いて高止まりの状態です。</p> <p>《短期目標》 メタボリックシンドロームは減少傾向がみられます。国・県・同規模を下回るように取り組みを継続します。 高血圧症、脂質異常症の数値は若干改善がみられました。一方、糖尿病は令和3年度にふたたび上昇しました。 特定健康診査受診率は、感染症の影響を受けた令和2年度からは大幅に向上しましたが、感染症流行前までは完全に回復していない状況です。 特定保健指導利用率は、健診受診率が回復して対象者が増えた後も利用率は大幅に下がることなく維持できています。</p> <p>《総合評価》 特定健康診査は、受診率がさらに向上するよう取り組んでいく必要があります。 特定保健指導は、対象者が増加した場合も引き続き丁寧に取り組みを継続する必要があります。 糖尿病(HbA1c)の有所見者率は、令和3年度にふたたび上昇しているため、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに従い、医療機関等と連携し、着実に実施する必要があります。(令和2年度は感染症の影響により減少した可能性があります)</p>
----	--